

事業番号	事務事業名	かがみのマラソン大会事業費	所管課名	生涯学習課	令和 2 年度課長名	黒瀬 豊
06570	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名	体育振興係	担当者・シート作成者	山本 翔大
	施策名	34 生涯スポーツの推進	根拠法令等	スポーツ基本法		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	新型コロナウイルス感染症蔓延の為大会延期	この大会の前身は町村合併前の「鏡野健康マラソン大会」で、平成31年度大会は通算では33回目(35年間)の大会である。鏡野町を全国にアピールすることを主眼として、町体育協会が中心となって開始されたものである。

2. 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度
ア 大会参加者	ア 参加申込総数	人	見込 実績	900 998	900 1,037	900 0	900	900
イ	イ		見込 実績					
ウ	ウ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度
ア スポーツの楽しさを知ってもらう	ア 大会実参加者数	人	目標 実績 達成率	850 909 106.9%	850 961 113.1%	850 0 0.0%	850	850 0.0%
イ	イ		目標 実績 達成率					
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

③主な活動内容	⑥活動指標	単位	区分	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度
ア 大会開催	ア 開催回数	回	目標 実績 達成率	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1 0 0.0%	1	1 0.0%
イ	イ		目標 実績 達成率					
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 07		目 01		大 事業 中 事業					事業番号
	一般会計		教育費		保健体育費		保健体育総務費		04	01	かがみのマラソン大会事業費			
予算(千円)	30年度実績	1年度実績	2年度実績	3年度見込	4年度見込	前年比	決算(千円)	30年度実績	1年度実績	2年度実績	3年度見込	4年度見込	前年比	
国庫支出金							国庫支出金							
県支出金							県支出金							
町債							町債							
その他特財	2,750	2,750	0	2,750	2,750	-2,750	その他特財	2,362	2,678	0	2,750	2,750	-2,678	
一般財源	8,426	11,249	306	7,853	7,853	-10,943	一般財源	8,756	11,244	270	7,853	7,853	-10,974	
合計	11,176	13,999	306	10,603	10,603	-13,693	合計(A)	11,118	13,922	270	10,603	10,603	-13,652	
財源名称	保健体育費寄附金			従事正職員人数				2	2	2	2	2		
	イベント参加料			延べ業務事務時間				1,300	1,300	200	1,300	1,300	-1,100	
				人件費計(千円)(B)				4,397	4,550	669	4,355	4,355	-3,881	
	最終予算額	306千円	予算執行率	88.2%	トータルコスト(A+B)			15,515	18,472	939	14,958	14,958	-17,533	
主な支出事業内容(予算)	委託料			264千円			主な支出事業内容(決算)	委託料			264千円			
	通信運搬費			6千円				通信運搬費			6千円			

事業番号	06570	事務事業名	かがみのマラソン大会事業費	所管課名	生涯学習課
------	-------	-------	---------------	------	-------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
全国的な健康志向やスポーツイベント開催機運の上昇に合わせ参加申込者数は徐々に増加の傾向にあるが、大会運営にあたっては交通規制に伴う体制強化や救護体制の充実を迫られ、業務委託量は増加の一途をたどっている。平成27年から同時期に『おかやまマラソン』が開催されるなど、同様の大会が多く開催されるようになってきている。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
参加賞の簡素化による経費削減や運営スタッフ減少に対し、参加申込受付や記録計測など業務委託のほか、美作高校のボランティア協力により人員数確保を図っている。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
主管団体である町体育協会は現在の大会形態見直しが必要との認識を持っている。大会参加者からは温かみを感じられる良いローカル大会だとの声がある一方で、大規模な交通規制による苦情も寄せられる状況である。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 結びついている	理由 説明	大会発足当初と比較し、町内住民や事業所近隣自治体からの参加割合が増加しているものの、参加申込者数の2割程度に留まっていたが、フレンズ&ファミリーの部新設によりその割合は増加した。今後の増加傾向によっては施策との整合性を検討する必要がある。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由 説明	生涯スポーツの推進を通じた健康づくりや世代間交流促進を直接アピールできる大型スポーツイベントとして開催するためには町が関与する必要がある。	
③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地はないか?)			
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 適切である	理由 説明	小学生以上であれば誰でも参加できるが、参加者相互の交流を図るだけでなく、スポーツを通じた健康づくりを推進する観点から参加対象を町民主体となるよう競技性薄い部門を新設した(フレンズ&ファミリーは保護者同伴を条件に就学前幼児も可)が、当面は町内近隣地域からの参加状況の推移を見守る必要がある。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由 説明	フレンズ&ファミリーの部新設により、町民の健康づくり意識啓蒙に寄与していると思われるが、調査ができていないため詳細は不明である。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)		
<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由 説明	歴史ある町内最大のスポーツイベントであり、この事業を廃止した場合、町のPRや健康づくり啓蒙の場として活用する大きな機会を失うことになる。	
⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)			
<input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がある <input type="checkbox"/> 改善余地がない	理由 説明	参加者への参加賞など配布物に健康づくりに役立つ資料・パンフレットなどを追加するなどして、陸上競技会としての円滑な運営を維持しつつ、情報発信の場としての活用を進めていくことは可能と思われるが、より直接的に町民に対する健康づくり意識の啓蒙普及に役立つ開催内容・方法を検討する必要がある。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	大会運営にあたる体育協会会員や町職員などは全てボランティアであり、一方、イベントとしての安全性確保などは年々取り巻く環境が厳しさを増している現状があり、現在の形態のまま大会開催を行うのであれば、現在以上の経費削減はできない。
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)			
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	イベントの準備・運営の各分野において業務委託を進めており、削減余地はない。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 説明	町費を投入してのイベントに対し町外参加者も多くいるが、県北エリアあるいは近県エリアまで含め捉えると、他市町村の類似イベントに町住民も参加しており、公平・公正である。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり	新型コロナウイルス感染症蔓延の為大会延期																							
B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了		今後の改革改善案 ・SP関係団体との協働体制の確立 ・情報発信の方法																							
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								
コロナ禍による3密回避のため、開催場所(奥津湖等)の検討。		(廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)																							